

2023年・秋

竹久夢二美術館 企画展 プレスリリース



左)1. 宵待草(藤原義江)1928年

右)2. 竹久夢二・画

セノオ楽譜「宵待草」1934年

明治・大正・昭和 レコードの時代と夢二の時代展

大衆を魅了した日本近代の音とデザイン

2023
12・9
24・30
SUN SAT

竹久夢二美術館



【ごあいさつ】

詩人画家・竹久夢二(1884-1934)が活躍した明治・大正・昭和は、レコードが大衆に受け入れられ隆盛した時代と重なります。はやり唄や落語、政治家の演説など様々な音源が記録され、音楽と音声を聴くためのレコードが日本で製造・発売して約 110 年の時間が流れました。

本展では、明治・大正・昭和戦前期に蓄音器で聴いていた、選りすぐりのSPレコードと共に、夢二が手掛けた楽譜表紙絵のデザインや時代風俗を描いた作品を展示紹介します。

「ぐらもくらぶ」代表・保利透コレクションを中心とした貴重なレコード及び資料と、大正ロマンを象徴する竹久夢二から見た、音楽を中心とした日本の近代芸術における足跡をお楽しみください。

【ぐらもくらぶ】

明治・大正・昭和期の古い音源(歌謡曲・流行歌・軍歌・ジャズソング・歴史的音源など)をテーマとした復刻CDレーベルで、関連イベントやライブも実施。



【展覧会の見どころ】

- ✓① 明治・大正・戦前期にみる、メディアとしてのレコードと、そのデザインを考察。
- ✓② 関東大震災前の芸能の情勢と、昭和戦前期のレコード歌謡の流行をたどります。
- ✓③ 「宵待草」をはじめ、竹久夢二と関わりのあるレコードと楽譜を展示。
- ✓④ 服部良一や笠置シズ子など、戦前の欧米化された歌謡曲を紹介します。

【竹久夢二とは？】

TAKEHISA YUMEJI 本名・茂次郎(もじろう)
明治 17 年-昭和 9 年(1884-1934)岡山県生まれ 画家・詩人



センチメンタルな画風の〈夢二式美人画〉作品をはじめ、恋多く、旅も重ねて大正ロマンを象徴する存在として広く知られる。明治・大正期の雑誌に発表した数々のイラストレーションをはじめ、日本画・水彩画・油彩画・木版画、さらにデザイン分野の作品を手掛け、さらに詩、童謡の創作にも才能を発揮し、詩画を融合させた芸術を開花させた。

約
200点

【出品点数】

【展示内容】
レコード・蓄音器・歌詞カード・
販売目録・ポスター・楽譜

大正時代の
ニットーレコード広告より



- ◇明治・大正時代のレコード
- ◇浅草オペラとはやり唄
- ◇夢二と音楽
- ①夢二の「宵待草」とレコード
- ②楽譜表紙絵の世界
―セノオ楽譜・童謡楽譜・民謡楽譜―
- ③夢二が描く、
音楽を楽しむ女性たち
- ◇昭和の流行歌とデザイン
- ◇レコードポスターのデザイン
- ◇戦前の服部良一と笠置シズ子
- ◇子供のレコード
- ◇文化人・政治家の肉声レコード
- ◇国民歌レコードのデザイン
- ◇戦時下の物資窮乏レコード

【展示コーナー】



3. チャップリン大会
1917 年
活動弁士の話芸など、大正時代の様々な娯楽が、レコードに記録された。



4. 宵待草(三浦環)
1928 年
竹久夢二の詩で現代まで歌い継がれる「宵待草」は、戦前期からレコード化され人気があった。



5. 忠犬ハチ公 1934 年
生誕 100 年を迎える忠犬ハチ公の啼き声をはじめ、歴史的レコードも展示。



6. 日本万国博覧会行進曲
1938 年
レコード産業が大衆の支持を得ると、様々なデザインのレコードが販売された。



7. 太平洋行進曲
1939 年
日中戦争がはじまると、国民を動員するための国民歌のレコードが、沢山作られた。



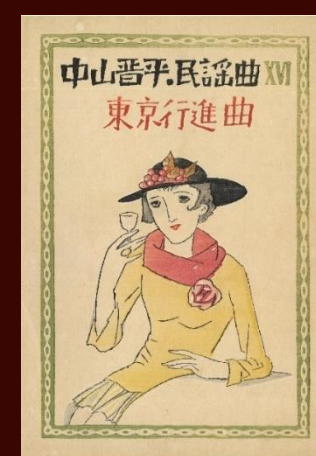
8. 赤い屋根青い屋根
1940 年
昭和になると流行歌の歌手が人気となり、レコードのデザインも凝ったものが登場。



9. 昭和の子供 1941 年
童謡のレコードも盛んに作られ、子供向けの親しみやすいデザインが目を引く。



10. 職場歌くらべ 1943 年
戦時下には英語の使用が控えられ、また原料の不足から粗末なレコードが作られた。



11. 竹久夢二・画
中山晋平民謡曲第 16 集
「東京行進曲」1929 年
モダンガールが描かれた、夢二画の楽譜表紙絵。

12. 歌詞カード
「春のをどり主題歌 桜咲く国」
1937 年
終戦直後にブギウギで一世を風靡した笠置シズ子による、戦前時代のレコードに付けられた歌詞カード。



13. 蓄音器(卓上型)「ユーホン」
日本蓄音器商会製
大正時代
レコードプレーヤーの元祖であるアコースティック式蓄音器。
動力はゼンマイだけで音が鳴る。



【展覧会概要】

展覧会名称

明治・大正・昭和 レコードの時代と夢二の時代展
～大衆を魅了した日本近代の音とデザイン～

主催及び会場 竹久夢二美術館

協力 ぐらもくらぶ

レコード資料監修 保利 透(ほり とおる)
アーカイブ・プロデューサー、
戦前レコード文化研究家、ぐらもくらぶ主宰

住所 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

Tel 03-5689-0462

会期 2023年9月30日(土)～12月24日(日)

休館日 月曜日・11月14日(火)
※ただし10月9日(月祝)開館、10日(火)休館

開館時間 午前10時～午後5時(入館は4:30まで)

交通 東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び
南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩7分
J R上野駅 公園口より徒歩20分



入館料 一般 1000円 大・高生 900円
中・小生 500円
※弥生美術館と二館併せてご覧頂けます。

ホームページ <http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

イベント

ギャラリートーク

10/14(土)・11/12(日)・12/16(土) 午後2時より
※企画展担当学芸員が展示解説を行います。

展覧会関連 SPレコード講座

10/8(日)午後2時～ 於:不忍通りふれあい館 ホール
講師:小針佑起(芸能史評論家)
演題:関東大震災100年 資料でたどる浅草オペラ
【参加費】500円 【定員】90名

※追加講座が決定次第、HPでご案内します。



14 展覧会チラシ

竹久夢二美術館

1990年11月3日開館 創設者・鹿野琢見
(1919-2009)の夢二コレクションを公開
しています。

館が建つ東京・本郷は、夢二が滞在した(菊富士ホテル)がかつてあり、最愛の女性・笠井彦乃と逢瀬を重ねた場所。今なお昔の風情を留めて静けさと木々の緑に包まれています。都内で夢二作品を鑑賞できる唯一の当館では、年4回3カ月ごとに企画展を行い、夢二の生涯や芸術より様々なテーマを採り上げ、常時約200～250点の夢二作品を展示しています。



夢二カフェ港や

店名の「港や」は、竹久夢二が大正3年に東京・日本橋に開店した小間物店「港屋絵草紙店」から名づけました。

大きな窓がある2階席からは、緑豊かな美術館中庭が眺められ、静かで落ち着いた時間をお過ごし頂けます。お手頃価格で、コーヒーやケーキ、カレーをお楽しみください。



展覧会についてのお問い合わせは

竹久夢二美術館 学芸員 石川桂子 までお願いいたします。

tel 03-5689-0462 fax 03-3812-0699



FAX 03-3812-0699

竹久夢二美術館 石川 行

明治・大正・昭和
レコードの時代と夢二の時代展
大衆を魅了した日本近代の音とデザイン

画像送付日 月 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望の図版番号に○をしてください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する	希望しない
-------------------	------	-------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールで画像データをお送りいたします。
ご希望の場合は、この申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699までお送りください。また美術館写真（外観／展示室）等を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名様分）をご用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2 竹久夢二美術館 担当 石川宛